

パリの四カ月

銅版画家・浜口陽三と
写真家・秋山庄太郎



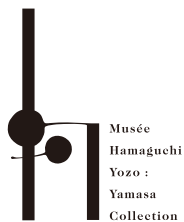
前期 | 2015 10.10 Sat. → 11.29 Sun.
後期 | 2015 12. 1 Tue. → 2016 1.24 Sun.

写真と銅版画の展覧会です。前後期で写真の展示替があります。

4 months in Paris
HAMAGUCHI Yozo &
AKIYAMA Shotaro
1960



休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、
年末年始(12/24~1/8)、10/17(土)は12時閉館
開館時間 11:00~17:00(土日祝10:00~17:00 最終入館16:30)
《ナイトミュージアム/会期中第1・3金曜*20:00まで開館/最終入館19:30》
入館料 大人 600円/大学生・高校生 400円/中学生以下 無料
*第1・3金曜…10/16、11/6、11/20、12/4、12/18、1/15の6日間
※11/15(日)は体験教室のため、1階会場が鑑賞しにくくなります。
※10/17(土)は講演会のため、12:00以降は展示が見られません。(ご予約者のみ14:00より入館受付)
※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。



ミュージゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

人物ポートレートやライフワーク「花」をはじめ、独特の叙情的作風で写真界の第一線で活躍した秋山庄太郎(1920-2003)。同氏は40歳の年、順風満帆だった仕事を整理し、ヨーロッパ外遊に出かける決意をします。そして1960年2月からの4ヵ月間、行く先々で風景や芸術家の肖像などをフィルムにおさめました。美しきものを写しとめる、という独自の美学に基づいた写真には一瞬のドラマがあり、被写体も風も光もまるでその1シーンのために存在するかのようです。

銅版画家・浜口陽三(1909-2000)はパリで巨匠の名声をほしいままにし、この年はヴェネチア・ビエンナーレの日本代表作家の一人に選出されていました。秋山氏は、パリに着いた翌々日に浜口を訪ね、その後もたびたび行動を共にしました。外遊中に撮影されたフィルムには、浜口の刷り場やアトリエ、版画家・スタンレー・ウィリアム・ヘイターと議論する様子、ビエンナーレに沸くヴェネチアの街角が写っています。

本展では、秋山庄太郎写真美術館の全面的な協力を得て、残されたフィルムから、パリやヴェネチアの写真、資料など50点ほどを紹介いたします(前後期で展示替)。多くが初公開です。浜口陽三の銅版画については、秋山氏が所蔵していた中より特にお気に入りだったという「4つのさくらんぼ」を含む3点と、ヴェネチア・ビエンナーレ出品作を中心に約30点を展示いたします。

秋山庄太郎の目を通した陽気で輝かしい芸術の都を、浜口陽三の銅版画と共に鑑賞ください。

——浜口陽三先生のメゾチント作品は、私の静物写真への傾斜に深い係わりがある。沈潜した画面の奥に煌めくような光沢が実に美しい。私は若い頃から黒の多く占める作調に拘り続けていて、それがポートレート作品にも表現するようになったのは、パリで浜口芸術に触れたことに無縁ではない、そう思っている。—— 秋山庄太郎

1985年7月(『現代日本の作家たち』サン・アート、1990年)

関連イベント 1 講演会『秋山庄太郎の欧州旅行』

本展テーマの欧州旅行をはじめ、秋山庄太郎の思い出や魅力を語っていただきます。

出演 | 上野 紀子(秋山庄太郎長女/秋山庄太郎写真美術館 事務局長)
齋藤 智志(秋山庄太郎写真美術館 主任学芸員)
日時 | 10月17日(土) 15:00~16:00 お茶会(自由参加) 16:00~17:00
定員 | 50名 参加費 | 入館料+300円

関連イベント 2 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまでを行い、ポストカードサイズの作品を完成させます。初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

※経験者(当館のメゾチント教室に参加されたことがある方)も可。(各回数名)

※技法はモノクロームメゾチントに限ります。詳細はお問い合わせください。

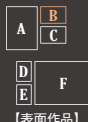
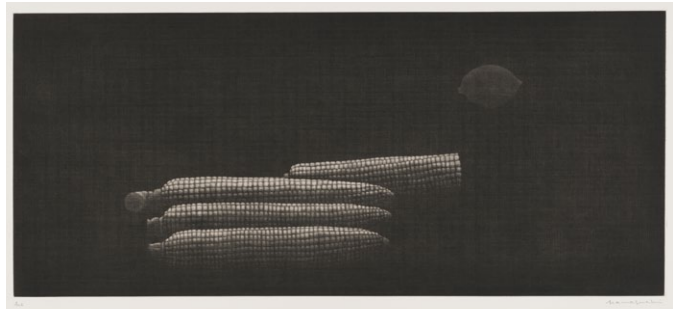
講師 | 江本 創(アーティスト)
日時 | ①11/15(日) ②11/16(月) ①②とも14:00~17:00 教室内容は同じです。
定員 | 各回12名

参加費 | 入館料+1800円(材料費込)

持ち物 | 下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン

※11/16(月)は休館日の開催となりますが、参加者は展覧会をご覧ください。

イベント①②申込方法 | 9/17(木) 11:00より電話にて受付開始(先着順)



【表面作品】



【裏面作品】

秋山庄太郎作品:『パリの四ヵ月』より(1960年撮影)

- A. 街角にて C. 刷り師を見守る浜口陽三
 - D. サーカス会場にて E. パリの女性たち
 - F. スタンレー・ウィリアム・ヘイターのアトリエにて
 - G. 浜口陽三と南桂子ーサンジェルマン・アンレーにて
 - H. ハリジェンヌ(ヴァレリー嬢)
 - I. パリの老紳士宅にて
- 写真はすべてセラチン・シルバー・プリント
©秋山庄太郎写真美術館

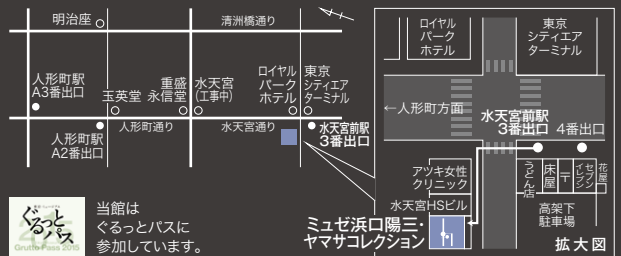
浜口陽三作品:

- B. 「さくらとぶどう」
1957年 29.4×44.2cm メゾチント
- J. 「4つのさくらんぼ」
1963年 23.3×54.2cm
カラーメゾチント
秋山庄太郎写真美術館所蔵
- K. 「どうもろこし」
1959年 23.5×54.1cm メゾチント

ミュゼ 浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸筋町1-35-7
Tel|03-3665-0251 Fax|03-3665-0257
Mail|musee@yamasa.com HP|http://www.yamasa.com/musee/

アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分
首都高速箱崎1.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



当館はぐるっとバスに参加しています。

